

第三学年〇組 図画工作科学習指導案

指導者 鷺田 育美

題材 ねん土ランドへ ようこそ

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、粘土を使って自分の好きなものや身近なものからイメージを広げ、好きな形や大きさに工夫して作品づくりを行うことができるようになってきている。そこで、手などの働きも巧みさを増し、扱える材料や用具の範囲が広がり、多様な試みが見られるようになってきたり、友人の発想やアイデアに関心を持ち、周りとの関わりも活発になったりするこの期に本単元を取り上げる。そして、想像したことを土粘土で立体として表すことを通して、テーマや材料からイメージを広げたり、立体に形を表す方法を工夫したりする力を培うようにする。このことは、表し方を工夫して創造的につくったり表したりする子供を育てる上からも意義深い。
- 本題材は、粘土のできることを生かし、友達と力を合わせて想像したことを表すことを通して、友達と関わり、協力して新たなものをつくりだすことができるようにする。本題材を通して、テーマから想像を広げ、土粘土のもつ感触の心地よさを味わい、手で握ったりひねったりしてできた形から自分の表したいもののイメージをとらえることができるようにする。このことは、本学級の子供達にとって、表したいイメージに照らし合わせながら、材料の形や表し方を工夫して、思いを具現化する力を培う上で適した題材である。
- 本題材の指導にあたっては、「ねん土ランド」をつくるというテーマから想像を広げ、土粘土に働きかけてできた形のよさや面白さをとらえながら表すことができるようにする。特に本時指導にあたっては、まず、導入段階では、前時までの作品の様子から自分の表したい「ねん土ランド」のイメージの具現度を確かめ、他者との比較からこれからどのように表していくのか見通しを持つことができるようにする。次に、展開段階では、友達と協力したり話し合ったりして、いろいろな形の表し方を共有し、さらに発想を広げて工夫し、形の面白さを生かして表現できるようにする。最後に、終末段階では、イメージを具現化できたか振り返るとともに、友達と互いの作品を鑑賞し合い、作品のよさや面白さの根拠を明確にしながらか話し合い、認め合うことができるようにする。

目標

- (1) 粘土に触れたり動かしたりしてできる形の感じを捉え、握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど手の様々な部分を使い、粘土でできそうなことや自分の表したいイメージに合うように工夫して表すことができるようにする。
- (2) 「ねん土ランド」という設定からイメージを広げ、粘土の感触や働きかけてできた形から表したいことを思いつき、自分の表したいことや表し方について考えをもち、話し合ったり、判断したりすることができるようにする。
- (3) 粘土を握ったりひねったりして働きかけてできた形やその組合せの面白さに関心を持ち、自分の表したい感じや思いついたことを意欲的に伝え合い、友達と協力して「ねん土ランド」を表したり楽しんだりする態度を育てる。

計画（4時間）

- 1 粘土のできることを試し、どんな「ねん土ランド」を表したいかを発想させる。————— 1
- 2 発想したことから材料を試しながら表し、「ねん土ランド」をつくらせる。————— 2
 - (1) 土粘土を伸ばしたり丸めたりして働きかけ、多様な形や表し方を試しながらつくらせる。……①
 - (2) 表したい「ねん土ランド」になるように、友達と協力して表し方を工夫してつくらせる。……①本時
- 3 ねん土ランドを全体で配置し、いいところや面白いところを見つけて伝え合い、満足感を味わわせる。—— 1

本時 令和2年5月〇日（〇曜日） 2校時 図工室において

- 主眼 1 「ねん土ランド」において自分の表したいことのイメージに合うように、土粘土の形を変化させたり、できた形を組み合わせたり置き方を変えたりしてできる面白さを生かして、工夫して表すことができるようにする。
- 2 土粘土で多様な形を試したり、表し方や見え方を比較したりする活動を通して、さらに表したいことの発想を広げたり、イメージに合っているか考えたりして、どのように表すかを話し合うことができるようにする。

準備 土粘土、粘土板、粘土べら、濡れタオル

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
<p>導入</p>	<p>1 粘土の使い方を確認するとともに、前時の作品を基に表したい「ねん土ランド」のイメージを広げ、表すことができるようにするめあてについて話し合う。</p> <div data-bbox="231 414 406 593"> </div> <div data-bbox="438 414 933 593"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の動物の形が面白いな。 ・ぼくのタワーをもっと大きくしたい。 ・〇〇くんとつなげたら、もっと楽しいねん土ランドになりそう。 </div> <div data-bbox="231 616 933 716"> <p>もっと「ねん土ランド」が楽しくなるように、ねん土の形や組合せをくふうしてつくろう。</p> </div>	<p>○本時で自分の作品をどのように表していきたいか見通しをもつことができるようにさせるために、自他の作品を見合う場を設定したり、工夫を加えた参考作品を提示したりする。</p>
<p>展開</p>	<p>2 試しにつくった形や表し方を組み合わせて、自分の表したい感じに合うようにつくる。</p> <p>(1) それぞれの作品に、新たな形の部分を加えたり、できた形を友達とつなげたりして、さらに表したいものをつくる。</p> <div data-bbox="231 918 343 1041"> </div> <div data-bbox="359 918 933 1041"> <ul style="list-style-type: none"> ・高くしていったら、タワーになりそうだよ。 ・友達と組み合わせて、もっと大きくしたいな。 </div> <p>(2) 友達と意見交流し、生かすことができそうな表し方を自分なりに捉えて、表したいイメージを広げて表す。</p> <div data-bbox="231 1153 454 1321"> <p>積み上げて高くする</p> </div> <div data-bbox="478 1153 694 1321"> <p>巻き付ける・つなぐ</p> </div> <div data-bbox="718 1153 933 1321"> <p>つまんだり付け加えたりして複雑にする</p> </div> <div data-bbox="231 1332 454 1456"> <p>上にのせていったらどんどん高くなったよ。</p> </div> <div data-bbox="470 1332 694 1456"> <p>細く伸ばした粘土で友達の形とつながって大きくなった。</p> </div> <div data-bbox="710 1332 933 1456"> <p>つまんで伸ばしたら、角が生えたみたいになったよ。</p> </div> <div data-bbox="231 1467 933 1568"> <p>話合いでとらえた粘土の形の表し方や、そこから思いついた発想を自分の作品に生かし、さらに表す。</p> </div> <div data-bbox="231 1579 933 1724"> <p>自分のねん土ランドの建物や生き物の形を工夫したり、友達といっしょに工夫を考えて形を変えたりしてつくったら、楽しい〇〇ねん土ランドを表すことができた。</p> </div>	<p>○「ねん土ランド」のイメージを広げさせるために、「表したいこと」「どのような形にしていきたいのか」を共感的に聞き取ったり、子供同士の話をつないだりする。</p> <p>○多様な表し方があることに気付かせ、自分の製作に生かして表させるために、共有させたい部分にICTを活用してモニターに大きく映し、工夫のよさや面白さを感じさせる。</p>
<p>終末</p>	<p>3 つくったねん土ランドを鑑賞して話し合い、気付いたよさや面白さを味わう。</p> <div data-bbox="231 1836 375 2049"> </div> <div data-bbox="391 1836 933 2049"> <p>タワーを高くしたかったので、タワーを高くしたかったので、友達の作品と合体しました。積み上げたり巻き付けたりしたら、もっと高くてかっこよくなりました。</p> </div>	<p>○自分たちの「〇〇ねん土ランド」で工夫した部分のよさや面白さについて気づいたり、説明したりさせるために「表したかったこと」「表すための方法」「できた形のよさ」の3つの視点を提示する。</p>